

## LiHub が目指すもの

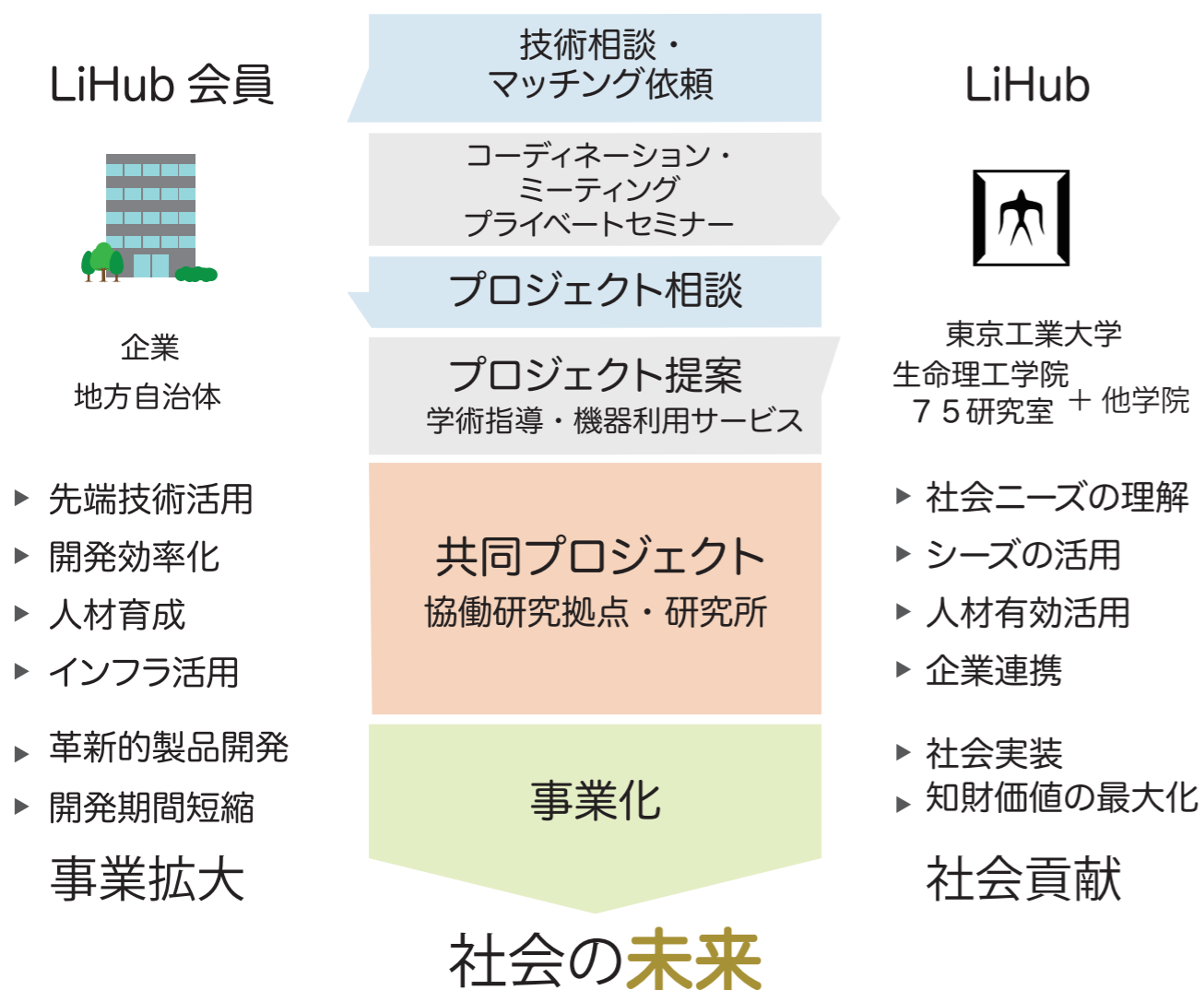
LiHub は、企業や地方自治体のさまざまなニーズに合わせ、東京工業大学保有の技術や人材を最大限活用するための体制をコーディネートします。

LiHub は、技術や人材の最適マッチングにより共同開発型のプロジェクトを推進することで、技術開発の迅速化を支援します。

LiHub は、会員と共同開発を行うことで技術の社会実装を具現化し、会員の事業への貢献を通して社会の未来をつくります。

LiHub メンバーシップ年会費  
協賛金 100,000 円 (税込)

LiHubは以下の流れによって、協創のマッチングを行います。  
LiHub会員は東工大メンバーシップ制度へも無料で参画できます。



## LiHub 会員制度を利用した多様なマッチング



## 共同プロジェクト化に向けたサポート

共同プロジェクトの例

- ▶ 会員からの社会ニーズに対応できる技術開発
- ▶ 東京工業大学の保有する潜在的技術の実用化と社会実装
- ▶ 会員が開発した機器等の用途拡大のためのフィールド試験や用途探索
- ▶ 東京工業大学との共同研究への参画や派遣研究を通じた人材育成
- ▶ 東京工業大学と他業他社とのオープンイノベーションの促進するためのネットワーク構築

